

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品名	： 多酵素洗浄剤 LD-1
会社名	： キヤノンメディカルシステムズ株式会社
住所	： 神奈川県川崎市幸区柳町 70 番 1 号
電話番号	： 044-520-2430
FAX 番号	： 044-520-2681
推奨用途及び使用上の制限	： 酵素系洗浄剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	： 引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	： 急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	： 皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	： 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2B
	： 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系, 血液系)
	： 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (中枢神経系, 呼吸器系)
環境に対する有害性	： 水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外が分類できない。

ラベル要素

絵表示



注意喚起語	： 警告
危険有害性	： 眼刺激 (H320) 臓器の障害のおそれ (中枢神経系、血液系) (H371) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (中枢神経系、呼吸器系) (H373)
注意書き	
[安全対策]	： 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260) 取り扱い後はよく洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
[応急措置]	： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311) 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314) 目の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313) 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312) 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)
[保管]	： 施錠して保管すること。(P405)
[廃棄]	： 内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

名称	濃度	CAS 番号
アクリル酸重合物のナトリウム塩	4%	非公開
有機酸塩	非公開	非公開
エチレンジアミン四酢酸並びにそのナトリウム塩	<1%	非公開
サチライシン	0.3%	9014-01-1
リパーゼ	非公開	非公開
アミラーゼ	非公開	非公開
セルラーゼ	非公開	非公開
プロピレングリコール	3%	57-55-6
水	非公開	7732-18-5

官報公示整理番号（化審法・安衛法）：全成分が化審法・安衛法に登録されているか、既存化学物質として扱われる。

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護：適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項：情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤：乾燥化学粉末、耐アルコール泡、二酸化炭素(CO₂)、水噴霧、砂、土

使ってはならない消火剤：情報なし。

火災危険性：情報なし。

特有の消火方法：周囲の火災に適した消火剤を使用する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
適当な距離から注意して消火すること。
風上から近づく。
水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。
可能であれば火から遠ざけ、不必要な危険を避ける。

消火を行う者の保護：適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
適切な呼吸用保護具を着用する。
火災の煙、または、分解生成物の蒸気を吸い込まない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具：適切な保護具を着用して作業する。

および緊急時措置：ガス、フェーム、蒸気や噴霧を吸入しない。

- 十分な換気を行う。
風上から近づく。
こぼれた場合、床が滑りやすくなることがある。
- 環境に対する注意事項：排水溝や河川に流さない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：大量に漏出した場合はポンプや吸引機を使って回収する。
大規模の場合：大規模漏出は、砂や土で封じ込める。
吸収した物質は、密封容器に回収する。
不活性吸収剤(砂、おがくず、ユニバーサル結合材、シリカゲル等)で吸収する。
- 二次災害の防止策：漏出物質により滑る危険がある。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。
- 安全取扱注意事項：皮膚、眼との接触を避ける。
適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。
製品取扱い後には必ず手を洗う。
屋外または換気の良い場所で作業する。
ガス、フューム、蒸気や噴霧を吸入しない。

保管

- 安全な保管条件：密閉容器に保管すること。
直射日光や高温を避けて保管すること。
施錠して保管すること。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。

- 安全な容器包装材料：情報なし。

- その他：経時により微量沈降物を発生する場合があるが、性能には影響なし。
高温で着色する場合があるが、性能に影響なし。
直射日光の当たらない冷暗所で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度：

サブイシ (9014-01-1)	
アメリカ合衆国 - ACGIH - ばく露限界値	
ACGIH® TLV® C	0.00006 mg/m ³ (Subtilisins)

- 設備対策：暴露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の眼をすすぐ器具と安全用のシャワーを設置する。
適切な換気装置を使用する。
- 呼吸用保護具：適切なマスクを着用する。
- 手の保護具：適切な保護手袋
- 眼の保護具：化学用ゴーグルまたは安全眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具：長袖保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態：液体
- 色：青色透明

臭い	： 微臭
pH	： 約 7.5 (原液)
融点 / 凝固点	： データなし
粘性	： データなし
沸点	： 約 100 °C
引火点	： なし
可燃性	： データなし
自然発火点	： データなし
分解温度	： データなし
燃焼熱量	： データなし
蒸気圧	： データなし
相対蒸気密度 (20°C)	： データなし
比重(密度)	： 約 1.06 g/ml (20 °C)
溶解度 (水溶性)	： 水／任意に溶解する
n-オクタン-1-ル / 水分分配係数(Log Pow)	： データなし
爆発限界 (g/m³)	： データなし
粒子特性	： データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	： 通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	： 情報なし
避けるべき条件	： 情報なし
混触禁止物質	： 情報なし
危険有害な分解生成物	： 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	： 区分に該当しない 構成成分からの計算値
急性毒性 (経皮)	： 情報なし
皮膚腐食性／刺激性	： 区分に該当しない 構成成分に基づいて推定
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 眼刺激 構成成分に基づいて推定
呼吸器感作性	： 情報なし
皮膚感作性	： 情報なし
生殖細胞変異原性	： 情報なし
発がん性	： 情報なし
生殖毒性	： 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	： 臓器の障害のおそれ プロピレングリコール(中枢神経系, 血液系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ プロピレングリコール(中枢神経系, 呼吸器系)
誤えん有害性	： 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性 (LC50)	： > 2000 mg/l (ヒメダカ/96 時間、OECD TG203 準拠)

残留性・分解性

生化学的酸素要求量(BOD)	：	72 mg/l	(ケ-ロメ-ター法、0.1%水溶液)
化学的酸素要求量(COD)	：	64 mg/l	(JIS K-0102 準拠、0.1%水溶液)
残留性・分解性	：	情報なし	
生分解性	：	データなし	(OECD 302B 準拠)
生体蓄積性	：	情報なし	
生態系 - 土壌	：	情報なし	
オゾン層への有害性	：	本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない。	

13. 廃棄上の注意

内容物／容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理場にて処分する。

容器は内容物を完全に除去してから廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号	：	該当せず
国連正式品名	：	該当せず
国連分類	：	該当せず
容器等級	：	該当せず
海洋汚染物質	：	該当せず
指針番号	：	該当せず

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質	： アクリル酸重合物のナトリウム塩 2,2',2'',2'''-(エタン-1,2-ジイルジニトリロ)四酢酸のナトリウム塩 フロン-1,2-ジオール
労働安全衛生法	監視化学物質	： 該当せず
	危険物	： 該当せず
	有機則	： 該当せず
	特化則	： 該当せず
	表示対象物	： 2027年3月31日まで フロン-1,2-ジオール 2027年4月1日施行 アクリル酸重合物及びそのナトリウム塩 フロン-1,2-ジオール
	通知対象物	： 2027年3月31日まで サライシン(0.3%) フロン-1,2-ジオール (3%) 2027年4月1日施行 アクリル酸重合物及びそのナトリウム塩 (4%) サライシン(0.3%) フロン-1,2-ジオール (3%)
	皮膚等障害化学物質	： 皮膚刺激性有害物質 該当せず 皮膚吸収性有害物質 該当せず
	がん原性物質 (作業記録等の30年保存対象物質)	： 該当せず
	毒物及び劇物取締法	： 該当せず
	化管法	： 該当せず
(PRTR法)	第1種指定化学物質	： 該当せず
	特定第1種指定化学物質	： 該当せず
	第2種指定化学物質	： 該当せず
消防法		： 該当せず
船舶安全法		： 該当せず
航空法		： 該当せず
海洋汚染防止法	ばら積み輸送	： 供給された状態の製品には不適用
	個品輸送	： 該当せず

16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

この SDS は、JIS Z 7252:2019（GHS に基づく化学品の分類方法）に従って分類し、JIS Z 7253:2019（GHS に基づく化学品の危険有害情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））の要件に準拠しています。

記載内容の問い合わせ先： キヤノンメディカルシステムズ株式会社
電話番号 044-520-2430
FAX 番号 044-520-2681